



照明探偵団通信

vol. 106 Shomei Tanteidan Tsu-shin

第64回サロン@ZOOM

『これからの探偵団街歩きを考える』

2020.08.28

東悟子

フィールドワークを主な活動としている探偵団。コロナ禍でもできる街歩きとはどんなものなのか、今何を見るべきなのか、班に分かれて議論しました。

コロナ禍でもできる探偵団活動とは何か。3月の終わりから街歩き企画運営委員会のSQUADと検討してきました。1人街歩き、面出団長の街歩き動画配信、ヴァーチャル街歩き、YouTube鑑賞会等、様々なアイデアが出されました。

5月には自宅から半径100Mの明かりを1人で調査し、オンラインで報告しあうという企画も実際に行ってみました。それぞれの住宅地のいい点や問題点がみられて、意義ある会となりました。

しかし、みんなで集まってフィールドワークするのを主な活動としてきた探偵団にとって、もっと違う活動はできないか、ということでメンバーから『これからの探偵団街歩きを考える』をテーマにどのような街歩きをしてみたいかのアイデアを募集。調査エリアやテーマが近い人を同じグループとし、1、関西・東海チーム、2、東京下町、古くからの商店街を考えるチーム、3、東京

光害・新しい街づくりを考えるチームという3つのグループを作成。各グループごとに分かれ、40分間街歩きテーマとエリアを検討した後、全体に発表し、実際に行う街歩きについて決めていきました。

関西・東海エリアチームは、名古屋栄の奇抜な街路灯調査と御堂筋イルミネーション調査、商店街を考えるチームは、谷中と麻布十番の商店街の明かり調査、そしてなぜか墓地調査、光害・新しい街づくりチームは、渋谷トレイ巡り&宮下パーク、オリンピック関連施設が多く存在する豊洲地区、駅前開発が進む立川をそれぞれ提案。参加人数最大5名までとして、参加者は希望エリアに申し込みをすることで実施することになりました。

通常であれば、1箇所に25名程が集まり、班に分かれて調査し、その日に内容を報告しあいですが、今回は各地5名がバラバラの日程で調査し、後日オンラインサロンで報告。参加者も自分の歩きたい場所を選択することができ、より参加者主体の街歩きになるよう期待感が膨らみます。

今回のサロンでは街歩きの検討だけでなく、団員から神津島の光害に配慮した街路灯の取り組みの紹介もありました。コロナが落ち着いたら、ナイトウォッチングツアーでその街の様子を見に行こうという企画も浮上しました。

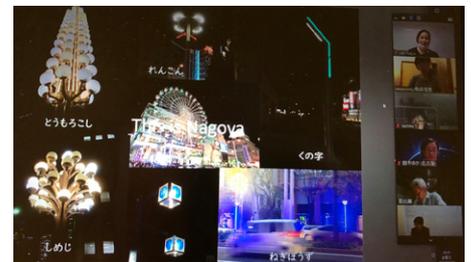
オンラインでのサロンは、全員がフラットで、あまり気送れなく参加でき、各々の意見が出やすいように感じます。参加の敷居が低く、どこからでも気軽に参加できるという利点があるので、コロナが収まって、オンラインサロンは続けていきたいと考えています。面白いサロンテーマがあれば、是非事務局までお送りください。(東悟子)

グループ	街歩き：提案エリア・場所 1	街歩き：提案エリア・場所 2	街歩き：提案エリア・場所 3
A: 関西・東海チーム	1 神楽坂 案理由：良いこと飯田橋に勤務していましたが、神楽坂の歩きやすいようなお店は、その前すら通ったことはありませんでした。改めて、しっかりとっていると思われるエリアを探検したいものだと思います。	明治神宮 案理由：大都會の中の園(もちろん良い意味での)調査と紹介を通して、園を楽しむの提案。なま、園を楽しむの感性の提案。の中心は、「園が自然である神社境内でのプロジェクションマッピング・・・あればやめてほしいよなあ」があります。	
	2 東京 選手村?や、オリンピックに向けて建設された建物周辺。残念ながら延期となった今、来年に向けての現在の夜間景観を観てみたいのです。		
	3 名古屋駅 できれば八坂神社 提灯まつりに合わせて、和ろうそくの提灯は一度見ていただきたいです。	渋谷 行く度に街が変わって私が単に歩き回りたから。	大阪 通明坂 何か東京名古屋とは違うと思うその理由を探りたい。
	4 名古屋・栄周辺 昔から奇抜な形状でエネルギーイメージの街灯が多いエリアだとは思っていましたが、前年秋に名古屋に観察したところ、奇抜さを増してきて驚きました。三郷の街にあるトロモロシ型の明るすぎる街灯や、繁華街ごとに色を変えて光る曲がった柱、昔からあった球状の街灯がLEDに変わって激しく輝くさまは、名古屋の広い道のロケーションとあいまって、犯罪者を誘惑し、独特のエネルギーを感じるほどでした。 京都での町歩きの最後だったので、「探偵団のみさんと話しながら歩きたい!」と心算していました。	京都・嵐山、なるべく満月を狙って。 観光地として賑わう嵐山は、昔と比べて随分明るくなり、「観光客や観光客用」だと住人の方が仰っていました。20年前は夜になると月明かりが感じられるほど暗かった嵐山の現状を観察したいです。	場所心当たりはあまりないのですが、「夜光の街灯がたくさん並んでいるところ」を歩きたい、と最近よく思います。今、夜光の街灯の夜間調査をしたら、何を思うのだろうか?という興味からです。 最後に見たのは2018年で、大久保公園(新宿)からの撮影で、田園の間の普通道の短い電柱に、夜光が並んでいました。
	5 観光客だけで成り立っている街(東京のことからなくて地名だけですみません) 理由-観光客が盛んなった町がどうなっているのか知りたいです。		
B: 東京下町、古くからの商店街を考えるチーム	6 原宿エリア 高齢者向けの商店街として有名だが、探偵団としては、また未開拓地だから。	下北沢エリア 若者、劇団の街で、小田急の地下化が進んでいる。探偵団としては未開拓地。	清澄白河エリア 東京都現代美術館のある木場公園、清澄庭園など、水辺のある街だが、未開拓地。
	7 埼玉新都心 幸田市の都心	神津・谷中地区 新都心の古町	赤羽地区 都内の雑居街
	8 本末大久保「エスニックな明かり」アジア気分を感じるし変化しているはず、やはり興味深かった。	上野?「美術館・博物館の照明」照明の質に気合が入っている。考え中。後で送ります。 門家の話が聞けるとベター。	
	9 青山墓地、納涼イベントとして恐怖や安心を感じる光を考える。		
	10 原宿・麻布十番エリア:高層ビルが多くあるイメージの街なので、飲食店の明かりと街の明かりがどのように調和しているか調査してみたい、と思ったため。	横浜みなとみらいエリア:公園や中華街、異人館など様々な要素がある。小さなエリアごとに特徴がありそうなので、調査する。	豊比野エリア:西・東口側とガーデンプレイス側でがらりと雰囲気が違う印象。どのような光の影響で違いが生まれるのか歩いて調査してみたいと思ったため。
C: 東京・光害・新しい街づくりを考えるチーム	11 神津島:全島で光害対策照明に交換しました。素晴らしい写真をご紹介します。		
	12		
	13 東京デザインゾーン 日本最大のテーマパークのあたり。	小田急沿線 複々線化が終わり住宅街の様子はどうか。	オリンピック会場周辺 オリンピック前から後、周辺の明かりを考察
	14 渋谷駅周辺南側エリア 特に宮下公園の夜の景観を体験したいです。	渋谷区内の公共トイレ [THE TOKYO TOILET] プロジェクト 通り道も快適に利用できるトイレとは如何に??照明の使い方が注目です!	
	15 高輪ゲートウェイ駅とその周辺/新駅というのと、少人数で探検できるから		

事前アンケートで出た意見を集計し、班分けを行った



3回目となるオンラインでのサロン



各班で街歩きエリアを検討。名古屋班は街路灯調査を提案

第66回街歩き with Small Group

5人までの少人数で街歩きをしよう！

2020.Oct.- Nov.

古川智也+小口尚子+坂口真一+田村聡+雨宮卓+鈴木ゆか+小谷弥

8月末に開催した『これからの探偵団街歩き企画サロン』の結果を受けて、最大5名までの少人数での街歩きを10月末から11月中旬にかけて7回開催しました。東京5か所、名古屋、大阪と7エリアを選定し、希望者で街歩き。1年ぶりとなる街歩きで、改めて実際に目で見て、その場で仲間と意見を交わすことの楽しさを痛感しました。今回エリアごとにテーマを変え、その街の特徴に迫りました。

■麻布十番～元麻布～西麻布 伝統とモダンの街

麻布十番は空海が創建したと伝わる善福寺の門前町として中世から栄え、現在は多くの老舗店や寺院に加え、大使館もある街です。団員5名が麻布十番駅に集合して調査開始。

麻布十番商店街で一番賑やかな麻布十番大通りには、古い佇まいのお店が軒を並べて、新旧様々な光が活気を与えていました。さらに街路灯のオレンジ色の光に石畳が映えて、温かい雰囲気になった光環境でした。

老舗の和菓子店が有名な雑式通りの街路灯は白い光でした。グレア感があり、眩しくて落ち着かず、お洒落な街のイメージが台無しです。

住民憩いの広場「パティオ十番」は、石灯籠風のポラード照明の温かい灯りが、車と人の安全性と美しい景観づくりに効果的で、色づき始めた櫛と調和して気持ちよく、全員が英雄に挙げました。住人の帰りを温かく迎えるマンションエントランスの柔らかな灯りや、間接光を多用してマンションの解放感を高めた明かりも英雄に。

一方、レディースのセレクトショップ店内から漏れ出る必要以上の光や、網代公園を照らす投光器のような強く白い光は光害という声が。

大黒坂を上ると、元麻布の閑静な高級住宅街。住宅や通りといった街全体の光の量が抑えられ、所々に住宅の存在感や高級感、美観を演出する光溜まりが設えられ、心豊かになりました。頭痛がする程の明るいビルエントランスの灯りは、全員一致で犯罪者でした。

風情ある光と刺激的な光が混在し、伝統とモダンが隣り合う独特な街ですが、整理や融合すれば、もっと素敵なお街になるのではという意見に全員共感しました。(古川智也)

■渋谷 デザイナーが設計した公共トイレ巡り

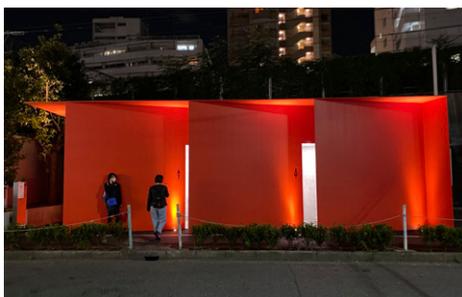
渋谷班はまず、日本財団が実施する公共トイレプロジェクト「THE TOKYO TOILET」を視察に。



低層の高級住宅 ライトアップされた敷地内から高級感が漂う



横文彦氏設計の恵比寿東公園トイレ 英雄



田村菜穂氏設計の東三丁目トイレ

それぞれ個性の際立ったトイレながらも、いままでの公共トイレのイメージを払拭するような清潔感があり、明るさもきちんと確保されていて安全性を配慮した空間ばかりでした。片山氏デザインの恵比寿公園トイレは、シンプルな壁に間接照明と足元を照らすあかりで、この先にどんな空間があるのだろうかと思ってみたい気分になったり、田村氏デザインの東三丁目トイレは赤い外壁とアッパーライトが印象的でした。中でも横氏が手掛けた恵比寿東公園トイレは個性的なフォルムを持ちながらブラケット照明のみで構成された優しい光環境となっており、英雄となりました。ただトイレ周辺は高色温度で低照度な公園が多く、少し

コロナ拡大を防ぐため大勢での街歩きができないことから、参加人数を最大5名として、関西を含む7か所、7グループでの“Small Group”街歩きを開催しました。1年ぶりとなる街歩き。コロナ禍で夜の街の賑わいに変化があったのでしょうか。



パティオ十番 ポラード照明と色づき始めた櫛が気持ちよい



麻布十番大通り 温かいオレンジ色の光に石畳が映える



宮下パーク入り口



渋谷横丁 活気ある赤い明かり

安全性に欠けるということで公園も含めた計画となると良いのではないかと感じました。

次に、今年7月オープンのMIYASHITA PARKへ。1階の渋谷横丁は提灯や看板照明の活気ある赤い明かりが人々の楽しみや賑わいを作っており、わくわくするというところで英雄。公園の下にあえてハイブランドを配置している等、「MIX&MEET」というコンセプトは渋谷らしさがわかりやすく表現されている反面、明るすぎるショップや大階段に対しては賛否両論ありました。トイレプロジェクトも含め、今後続く渋谷の再開を継続的に街歩きしていきたいと感じました。(小口尚子)



落ち着いた雰囲気ジョギングコース



谷中夕焼けだんだんの階段を下りた先に商店街が



豊洲ぐるり公園 明るいジョギングコース



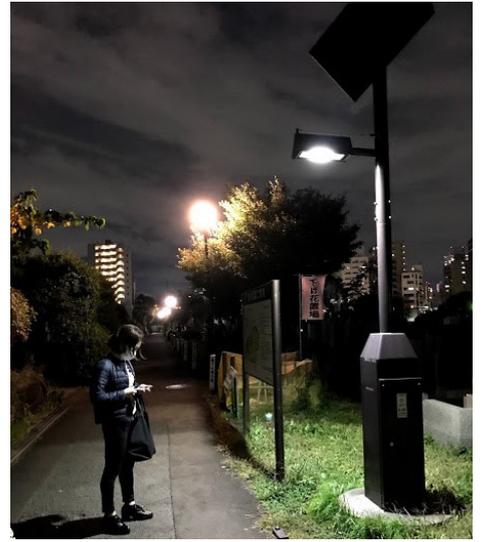
カオスな照明群「谷中銀座」



豊洲大橋のカラーライティングは意見がわかれるところ



谷中 ダントツの犯罪者「LED 防犯灯」



染井霊園 ソーラーバッテリーのポール灯で十分は照度を確保



広く開放的な空間 遠景のビルの明かりが墓地の明るさ感を創出

■豊洲 様々な開発が進む街

豊洲といえば豊洲市場が最近話題ですが、私たちは豊洲ぐるり公園を中心に街歩きしました。まずはゆりかもめに乗り市場前駅へ。豊洲市場にはやはり夜なので入ることはできませんでした。周辺道路はどれも整備され、色温度が低い街灯が設置されていましたが、色温度が違う器具が所々あったのが少し気になりました。

豊洲ぐるり公園はジョギングコースとなっている為、夜でも安心して走れるように明るめにしていますが、ちょっと明るすぎる感じがします。反対側のオリンピック選手村から見ると、きつとまぶしく感じるのではないのでしょうか。

豊洲大橋は意見の分かれるところ。華やかな色で鮮やかにライトアップされていますが、ちょっと明るすぎない感じがしなくもありません。意見の分かれるところだと感じました。

同じジョギングコースでも壁面がレンガでできており、とても落ち着いた雰囲気のある場所もあります。いろんな雰囲気の場所をジョギングできていい、ということかもしれません。

ららぽーと豊洲周辺では、バス停があまり見ない落ち着いた雰囲気バス停で好印象でした。

豊洲ぐるり公園周辺だけの街歩きでしたので、変化に乏しいかと思いましたが、表情の違いを感じることはできました。印象的なのはジョギングコ

ースの明かりで、これだけの開発をするなら周囲から見た様子もよく考えて整備する必要があると感じました。(坂口真一)

■谷中 古くから人気の商店街と住宅地

私たちの班は、「谷中銀座」を中心に、周辺の「不忍通り」「へび道」「三崎坂」「御殿坂」等を、「商店街と密集した住宅地を巡る」というテーマで街歩きしました。

住宅地や各通りは、所々に色温度の低い照明で統一されたお洒落な店舗がありましたが、毎度おなじみ「LED 防犯灯」のまぶしさが気になる箇所が多く、犯罪者が多いという意見でした。酷いところは、低い位置に複数の灯具が連なる箇所もありました。反対に、昔ながらの水銀灯は、意外と好印象。嫌な気分にならないという意見が多数あげられました。

谷中銀座は、店の看板、店舗壁面のブラケット灯、街灯が雑多に存在し、まさにカオスな状態でしたが、店舗看板と壁面のブラケット灯(店舗の壁面に付いているのが珍しかったです。)は、色温度の低い灯具でまとめられて統一感があり、その光に集約されれば非常に落ち着いた良い空間になると思ったので、今後期待、かつトータルコーディネートの大切さを感じました。

この周辺は2014年にLPAスタッフが調査して

いたので、当時の報告書と比較もしてみました、あまり変化はなく、LEDの灯具が若干増えたかという印象でした。

今回、久々の街歩きとなりましたが、やはり現地を歩き生の雰囲気を感ずるのは、大切なことであることを再確認しましたし、ただ単純にととても楽しかったです。今回は少人数でまわりましたが、普段以上に色々意見交換でき、とても充実していたと思います。暗いニュースばかりの昨今ですが、早くコロナが収束し、明るい気分での夜の街を散策したいものです。(田村聡)

■巣鴨・染井霊園周辺 霊園の照明とは

今回、コロナ渦において小規模な街歩きを企画して我々が選んだテーマは霊園でした。霊園とは夜間どのようなあかりなのだろうか？

選択したのは、都内巣鴨にある染井霊園。都営の霊園としてはJR巣鴨駅やとげぬき地蔵など繁華街が近く、その対比と共存状態を観察すべく選択しました。余談ではありますが、染井霊園には桜の古木が多くあり、「そめいよしの」はこの地の発祥となっています。

巣鴨駅から商店街を歩き10分、大通りから右に曲ると霊園の入り口があります。広さは67.911㎡、およそ3万の方が埋葬されている墓地。夕方18:30頃、霊園に入りましたが、



名古屋 テレビ塔とオアシス 21 は夜も名古屋のアイコンに



犯罪者 青が強いLEDのイルミネーション



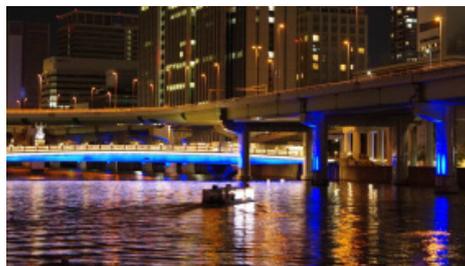
英雄 栄交差点のユニークな街路灯



犯罪者 青が強いLEDのイルミネーション2



御堂筋 幻想的な世界



御堂筋 高速道路下の照明

想像していたようなおどろおどろしい風景ではありませんでした。園内には歩行者や、自動車も通行できる生活道路があり、LEDの街路灯によりしっかり明るさが確保されていました。

主要通路は、地面で6lux～4luxが確保され、約200mおきに設置されたソーラー・バッテリー仕様のポール灯直下は50luxありました。

また、都内の広大な平地であることから、周辺の高層ビル街（池袋・新宿・上野）などの遠景のあたりが一望でき、空間の明るさ感が確保されていました。

LEDの色温度はいずれも高く5000～6500Kでしたが、これももし1～2lux程度の照度であったら、まさにおどろおどろしい空間になっていたと思います。東京都内の街中でも、まだ見たこともない空間が存在するとの実感があつた1日となりました。（雨宮卓）

■名古屋 栄 派手な街路灯観察

11月3日晴れ、名古屋班の街歩きを滋賀から本間先生、大阪から小谷さん、そして名古屋在住鈴木という3人で行いました。京都在住で名古屋出張に来られた際の発見を教えてくださいました魚森さん、元名古屋在住の本間先生のおすすめポイントを中心に巡りました。小谷さんは初名古屋。私は名古屋在住5年なのですが、買い物をする街という目的でしか栄を見ていなかったため、改めて街を見るよい機会になりました。参加者は栄三越の地下一階で初対面でしたが、なぜか前から知っ

ているようなそんな雰囲気が始まりました。

まずは三越交差点のユニークな形の街灯を観察。街歩きのオープニングにふさわしい華やかな風景の写真を撮影+観察して、意見交換しました。

プリンセス通りから久屋大通公園に向かう途中では、くの字の街灯の色と街の雰囲気を話し合ったり、ビルから漏れるひかりでできた街の雰囲気をしながら歩きました。

次にオアシス21とテレビ塔へ。名古屋・栄を象徴する風景が広がります。このふたつに当たるLEDの色が呼応したら面白いだろうね、という意見が出ました。

その後、栄を離れ伏見駅に向かいました。終日快晴の予定だったのですが、突然の雨。小走りしながら青いLEDが街を照らし怪しい雰囲気となっているのを観察しました。

日常では気が付かなかったのですが、観察すると他の街灯もいろいろな形をしていたのに気が付きました。まだまだ名古屋で探検団をすべき場所がありそうです。（鈴木ゆか）

■大阪御堂筋イルミネーション 是が非か

梅田から難波にかけて全長5kmに及ぶイルミネーションの街歩きを行いました。私は、電球色の暖かみがイルミネーションの良さだと思っており、街がカラフルであることが寂しく残念だと思いつつ歩き出しました。

まず、歩き始めてすぐの交差点に一際目立つ木がありました。大小様々な電球色のLEDで点灯さ

れ、輝度の違いで煌びやかさが増し、印象的なイルミネーションの入り口となっています。葉の部分にだけ照明をつける事で、葉の一枚一枚が輝きを持ち、浮遊感を生み出し幻想的な世界を作り出しています。そして、色が交わる照明へと変化しますが、不思議と違和感や寂しさはありませんでした。色が非日常を作り出し、それが現代社会で求められている癒しの世界なのだと実感しました。また、木だけではなく、建物や高速道路もライトアップされていたので、日常の風景も非日常化し、街全体が光で包まれ素晴らしい雰囲気でした。

しかし、既存の街灯が点灯したままで非日常の世界を壊し、これぞ犯罪者でした。街灯自体はレトロでイルミネーションに馴染むものではありませんでしたが、色温度や明るさがイルミネーションの幻想感をかき消していました。やはり街灯は消灯するべきではないかという意見で一致しました。

最後に、車でイルミネーションを楽しむには最適な距離であるが、歩くには長く感じます。それぞれゾーンを短くし、繰り返す行くとより魅力が増すのではないかと思います。（小谷弥）

少人数の街歩きで、盛り上がるか心配でしたが、少人数だったからこそ、一人一人があまり遠慮することなく意見交換でき、どの班も議論が深まっていたように感じました。また親密度も増していたような気がします。今だからできる活動を続けていきたいと思います。（東悟子）

第65回サロン@ ZOOM

Small Group 街歩きレビュー
2020.11.28 東悟子

10月、11月に7か所で開催された”Small Group”街歩きのレビューをオンラインで開催しました。お互いの街歩きの報告を聞き、次はそこを歩きたくなった団員達でした。

今年度4回目となるオンラインサロンを開催しました。トピックは10、11月に少人数で行った街歩きのレビュー。各エリアのリーダーから街歩きの報告がありました。いつもは同じ街を3～4グループに分かれて調査し、それを報告するのですが、今回の街歩きは名古屋、大阪御堂筋イルミネーション、渋谷トイレ巡り&宮下パーク、豊洲、谷中、麻布十番、染井霊園&巣鴨と特色がまったく違うエリアで行ったため、報告された内容もバラエティーに富んでおり、あっという間の90分でした。

街路灯に着目して歩いた名古屋の報告では大振りの派手な意匠の街路灯が紹介され、名古屋らしい賑わいの創出に寄与しており英雄とされていました。しかし周りを青一緒に染めてしまっているLEDのイルミネーションが犯罪者として挙げられていました。

大阪御堂筋イルミネーションを担当した班からは、様々な色を使用したイルミネーションは華やかではあるが、落ち着いた暖かみのあるイルミネーションを好んでいる団員からは不評のようでした。ただ幻想的な空間になっており、町全体の雰囲気作りは成功しているとのことでした。既存の街路灯とイルミネーションの共存をどうするかという問題点も上がりました。

渋谷トイレ巡りでは、建築家やデザイナーが設計した最新公共トイレの報告がありました。それぞれテーマ性のある個性的なトイレで、好き好きはありましたが、安心して入れる清潔な公共トイレが増えていくことに関しては大賛成。ただ、トイレだけでなくそれを含めた公園の光環境を再度考える必要があるのではという意見でした。

豊洲チームからはジョギングコースは明るすぎるくらい十分な照度が確保されており、対岸からはかなりまぶしく見えるのではないかと懸念点が報告されました。印象的な夜景として挙げたのは、豊洲に立ち並ぶマンションからの明かり。水面に映り、きれいな夜景になっていたようです。

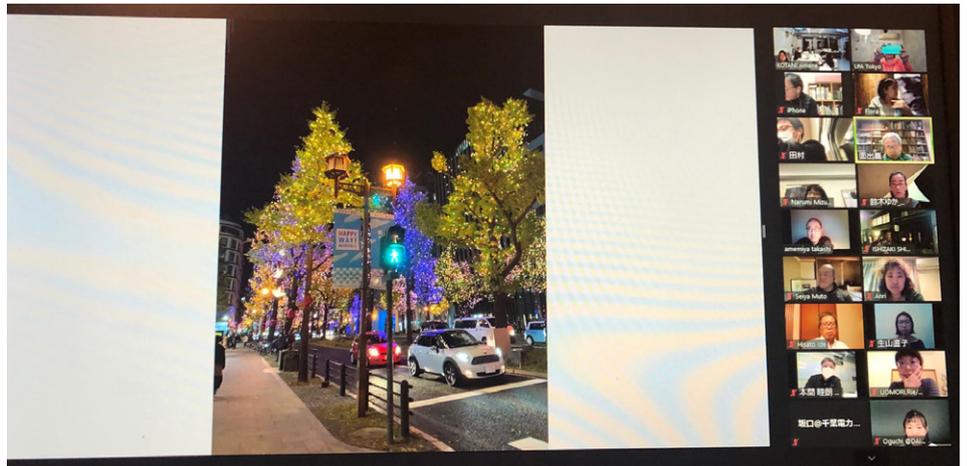
谷中班からは商店街ではなく、個々のお店が照明を頑張っている現状が報告されました。商店街は統一感とバラバラ感が共存していたようです。住宅街の防犯灯はやはり犯罪者。どんどん足された街路灯や防犯灯が大渋滞した交差点が紹介されました。

麻布十番班からは新旧が入り混じり、多国籍で多様な顔を持つ麻布が紹介されました。風情のある灯、刺激的な灯、無頓着な灯が混在しているので、整理して、町全体の個性を表す夜の計画がなされれば、素敵な街になるとの意見でした。

染井霊園班は特に英雄・犯罪者という見方はせず、生活動線にもなっている霊園の光環境を報告してく



自宅、会社、居酒屋、学校など、様々なところから参加いただきました



班のリーダーから街歩きの報告がありました

れました。霊園は高台で見晴らしがよい開けた場所にあり、墓地のおどろおどろしい怖さは皆無。人通りが思ったより多く照度も高いため、暗い怖い印象はなかったようです。霊園の後は巣鴨を調査。商店街ではあるが、飲食店があまりなく、夜はほとんどの店が閉まっており、墓地の寂しさとのギャップのにぎやかな商店街という期待は裏切られた、とのことでした。

オンラインのサロンで自宅から参加できるということもあり、今回のように日本のどこでも自由に街歩きし、情報を共有できたことは、これからの探偵団活動の進め方に、幅を持たせるきっかけになったように思います。

大勢で集まれるようになって、オンラインの活動も取り入れて、ハイブリッドな活動を展開していくのが、“ニューノーマル”にあった姿なのかとおもいます。今後も楽しい活動、ご期待ください！（東悟子）



豊洲班の発表スライド



麻布班の発表スライド

ライトアップワークショップ in 秋保温泉

2020.11.18 東悟子

毎年この時期に秋保温泉で開催されているライトアップイベント“アキウルミナ”の一環でワークショップを行ってきました。

秋保には昔採石場があり、景勝地の磊々峡という峡谷ではその名残の巨石が多くみられます。屋間、ワークショップの下見にその磊々峡を訪れました。巨大な石が峡谷に並ぶ姿は圧巻でした。峡谷沿いには遊歩道が続いており、脇に植えられた紅葉は赤や黄色に色づいていました。紅葉に峡谷、橋に旅館など、照らす要素が狭い範囲の中に盛沢山あり、ライトアップワークショップに絶好のロケーションでした。

地元のアーティスト、旅館関係者、商店店主など30名程度が集まり、ワークショップスタート。探偵団紹介や街における夜間景観の大切さのレクチャー後、早速懐中電灯とカラーフィルターを持ち峡谷へ。眼鏡橋と呼ばれる橋の上から岩を照らすと、闇に沈んでいた水や峡谷が浮かび上がります。懐中電灯の照らす角度で水の見え方が変わること驚きの声。水場に近いところに降りて、カラーフィルターを使い岩を照らします。色がフィルター通りにきちんと出るものと出ないものがあることも驚きの発見だったようです。岩を赤や青、緑の光で照らし、それぞれの印象を話しました。またどの場所から照らすのがいいのかという議論も。

岩だけでなく、紅葉や遊歩道も照らして、写真に収めました。その他ホテルの紅葉ライトアップは歩行者にまぶしい、遊歩道が暗すぎる、といった改善を求める意見も上がっていました。

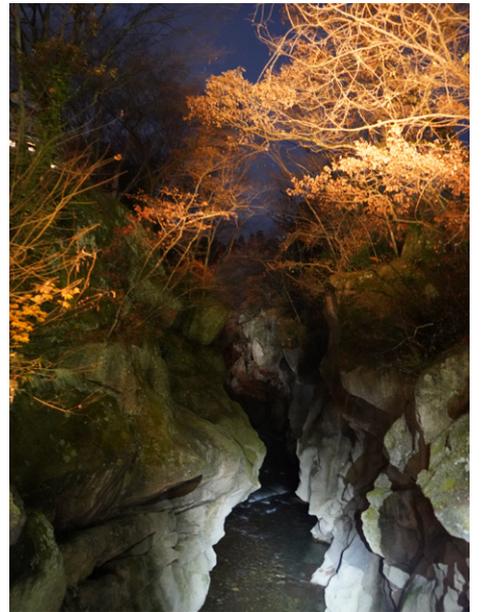
約60分ほどのライトアップ実験を行い、反省会会場へ。会場に向かう途中イベントの為に製作されたインスタレーションにも立ち寄り、感想を述べました。

反省会では、実験で撮影してきた写真を使いレビューを行いました。ライトアップしたいという希望があってもどのようにしたらいいかわからなかったのが、今日一緒にいろいろ実験しながら歩いてみて、参加者と意見を交わすことで、沢山のヒントを見つけたという意見や、継続的にこのようなワークショップを開催したいという意見など、ポジティブな意見が多く聞かれました。また改善点についても話され、ライトアップをするだけでなく、既存の照明をちょっと改善するだけで、解決する問題も多くなることも共有できました。

地元の人からその街の今後の夜間景観への期待や改善点を聞かせてもらい、大変貴重な会になりました。また来年も引き続き違う形のワークショップをやらせていただけたらと思います。(東悟子)



磊々峡 日中 巨大な岩が圧巻



磊々峡をライトアップ 暗闇に沈んでいた峡谷が姿を現す



探偵団の説明と夜間景観の大切さをレクチャー



懐中電灯とカラーフィルターを各々持ち実験



色を変えてライトアップ 印象の違いを体感



途中イベント用のインスタレーションも見学



反省会では実験の様子を振り返りながら意見交換



人数を制限し、地元の方30名ほどの会となりました

【照明探偵団の活動は以下の 21 社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社
ウシオライティング株式会社
岩崎電気株式会社
カラーキネティクス・ジャパン株式会社
株式会社ルーメンジャパン
株式会社遠藤照明
パナソニック株式会社
ERCO / ライトアンドリヒト株式会社
大光電機株式会社
株式会社 Modulex
スタンレー電気株式会社
コイズミ照明株式会社
株式会社 YAMAGIWA
東芝ライテック株式会社
マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社
トキ・コーポレーション株式会社
湘南工作販売株式会社
山田照明株式会社
ルイスポールセン ジャパン株式会社
DN ライティング株式会社
三菱電機照明株式会社



探偵団通信に関してのご意見・ご感想等随時受付中です！

お気軽に事務局までご連絡ください。